

# 博士課程教育リーディングプログラム 平成24年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成24年度		
申請大学名	同志社大学	申請大学長名	八田 英二
申請類型	複合領域型（多文化共生社会）	プログラム責任者名	田端 信廣
整理番号	L03	プログラムコーディネーター名	内藤 正典
プログラム名	グローバル・リソース・マネジメント		

## <プログラム進捗状況概要>

### 1. プログラムの目的・大学の改革構想

人間生存の基盤たる「資源・エネルギー工学、インフラ科学」と「地球規模の課題群」に関わる人文・社会科学を融合した新たな学際領域「**グローバル・リソース・マネジメント**」（以下「**GRM**」）を設定し、現在の困難を解決し、将来に生じうる隘路を事前に察知して対策を講じうる能力を有する、新興国、及び最困難国で活躍するグローバル・リーダーの養成を目指す。同志社大学は、博士課程教育リーディングプログラムを推進することで、現在、世界が直面する多様な課題に対して、知識偏重的な学習・研究から脱して、広い視野から主体的に問題を発見し、さらにその解決に向けて創造的な思考をもって行動できる高度専門職業人材の養成を図る。そのため、既存研究科の主流となっているdiscipline-oriented（学問系統深化型）な教育研究方法ではなく、issue-focused（課題追究型）な教育研究方法を大胆に取り入れる。本プログラムは、その先駆として位置づけられるものであり、複数の研究科の協力、連携による領域横断的、応用的教育プログラムを設置し、知のイノベーションによって大学院修了者のキャリアパスの拡大を図る。

### 2. プログラムの進捗状況

平成24年度は、上記の目的を実現するために、プログラムの基本制度設計、実施体制およびコースワークの整備ならびに優秀なプログラム履修生を確保するための広報活動を行った。プログラムの基本制度設計においては、大学院学則をはじめとする関連規程等の改正または制定を行い、その改・制定に伴うプログラム運用上の意思決定システムを年度内に構築した。実施体制の整備としては、プログラムの実施および支援に必要な人員の確保と配置、学修環境整備、関連授業科目の開設準備の3点を進めた。中でも関連授業科目の開設準備は、本年度の最重要事業であり、先行実施している授業科目の豊富化を図りつつ、プログラムの下に置くコースワークの体系化を図った。とりわけ、コースワークのコアとなるGRM共通科目（国際会議の組織と実践、オンサイト実習、フィールドワーク、インターンシップ、コモン演習）については、学外における実・演習を軸とした授業計画を立てることになるため、実習候補地や実習機関の選定と準備に注力した。広報活動においては、ホームページに限らず多様な媒体を組み合わせた活動を展開し、本プログラムの教育内容を国内外に向けて積極的に情報発信しつつ、リーディング大学院の形成による博士人材養成の意義についての普及、発信に努めることにより、優秀なプログラム履修生の確保を目指した。2月にプレリミナリー試験、3月にクオリファイニング試験を実施し、合計12名のプログラム履修生で実質的なスタートの年である平成25年度を迎えることになる。